

2026 年度 目白大学 学位授与式 式辞

本日ご卒業を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。全教職員を代表し、皆さまのご卒業を心よりお祝い申し上げます。

これから皆さんは、一人の社会人として、実に様々な経験を重ねていくことでしょう。心を打つ素晴らしい出来事に数多く出会う一方で、時には理不尽な現実直面し、悩むこともあるかもしれません。友人や家族など、身近な人に相談することで、多くは解決へと向かうでしょう。けれども時として、まったく別の角度からの意見が欲しくなることもあるはずです。

そのようなときには、どうぞ本学へ帰ってきてください。ゼミの恩師、顔なじみの教職員、あるいは在学中にはあまり言葉を交わす機会のなかった教職員であっても、遠慮なく訪ね、相談してみてください。大学は、社会に開かれた教育機関です。その門戸は、卒業生に対しても開かれています。

もっとも、私たちの本当の願いは、皆さんが本学のことを忘れてしまうくらい、それぞれの場所で生き生きと活躍してくれることです。人や仕事との出会いに心を躍らせ、夢中になり、母校を思い出す暇もないほど充実した毎日を送ってくれるなら、それに勝る喜びはありません。日ごろは大学のことなど忘れていてくださって構いません。それは、皆さんが前を向いて歩んでいるという証拠だからです。

その上で、目白大学は、皆さんにとって変わるもののない「母校」です。母校とは、いつでも帰ることのできる場所です。どれほど時が流れても、どれほど遠くへ行っても、母校は変わらぬ姿で皆さんを待っています。うまくいったときも、つまずいたときも、立ち止まりたくなったときも、母校があることを、どうか忘れないでいてください。

皆さん一人ひとりのこれからの人生が、健やかで実り多きものとなりますことを、心より祈念いたします。皆さんが、それぞれの場所で力を存分に発揮し、社会の未来を切り拓く一員として大きく羽ばたかれることを、本学は誇りとともに見守り続けます。

本日は、誠におめでとうございます。これをもちまして、式辞といたします。

2026 年 9 月 25 日

目白大学 学長 今野裕之